

バイオバンク・ジャパンは 患者のみなさまに支えられています

バイオバンク・ジャパンでは、全国の患者のみなさまが、医学研究の発展のためにと願つてご提供いただいた試料・情報を大切に保管し、様々な研究計画に対して、法令・指針に基づき、試料・情報を提供しております。バイオバンク・ジャパンは、日本の医学研究の基盤として、様々な研究の発展に貢献しています。

これまでのあゆみ

バイオバンク・ジャパンは、世界最大規模の疾患バイオバンク*です。

2003年度から、文部科学省の委託事業として開始した「オーダーメイド医療実現化プロジェクト」では、47種類の病気の方を対象に、全国の約20万人の患者さんのご協力をいただき、診療情報と血液などから抽出したDNAと血清を収集し、第1コホート**としました。

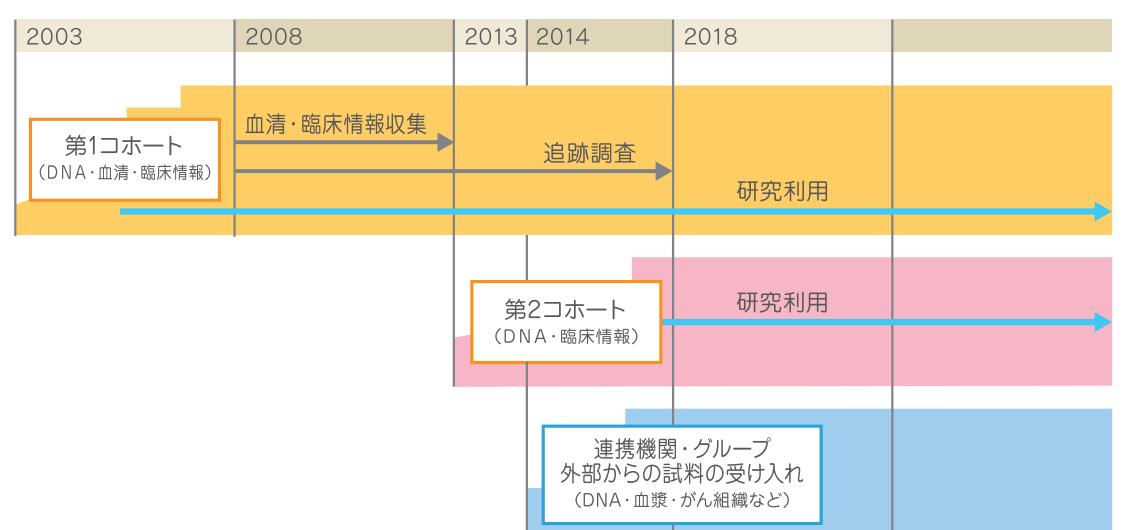
また、2013年度から2017年度まで「オーダーメイド医療の実現プログラム」が開始され、第2コホートとして、新たに38種類の病気の方を対象に、全国の約6万人の患者さんのご協力をいただき、診療情報と血液などから抽出したDNAを収集しました。

2014年度には、血清・血漿の保管庫を増設し、新たに組織保管庫を新設、2015年度からは、外部からの試料の受け入れ・保管を開始しました。これに伴い、国内のがんを始めとする臨床研究を行っている機関など(国立病院機構、日本臨床腫瘍研究グループ、日本小児がん研究グループ)から試料をお預かりしています。

バイオバンク・ジャパンの試料・情報を用いた研究成果は、日本人における個人の遺伝情報の違いと病気との関係などについて、国際的な科学雑誌に継続的に発表されてきました。2018年度からは、ゲノム研究バイオバンク事業として、バイオバンク・ジャパンを継承し、これまで保有してきた試料・臨床情報・ゲノムデータの利活用を促進し、活用されるバイオバンクとして管理・運営を行っています。また、他のバイオバンクと連携して、ゲノム医療の実現への貢献をめざしていきます。

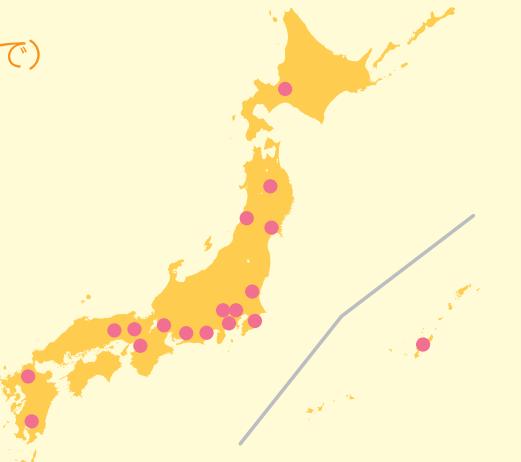
*バイオバンクとは、一般の方々や患者さんからご提供いただいたDNA、血清などを保管する倉庫とデータベースのことです。
**コホートとは、「一定期間にわたって追跡される人々」という意味です。コホート研究とは、ある特定の人々を将来にわたって追跡し、その後の病気の発症と経過などの関連を明らかにする研究です。

(参考文献 中村好一:基礎から学ぶ楽しい疫学, 医学書院, 2010)



| 協力医療機関 (2003年~2018年3月まで)

- 大阪国際がんセンター
- 岩手医科大学
- がん研有明病院
- 徳洲会病院グループ
- 順天堂大学
- 滋賀医科大学
- 東京都健康長寿医療センター
- 複十字病院
- 日本医科大学
- 大阪医療センター
- 日本大学
- 麻生飯塚病院



※ ●は協力医療機関のある都道府県に付けています。

対象疾患

第1コホート (47疾患)

肺がん	食道がん	胃がん	大腸・直腸がん	肝がん	膵がん	胆囊・胆管がん
前立腺がん	乳がん	子宮頸がん	子宮体がん	卵巣がん	造血器腫瘍	脳梗塞
脳動脈瘤	てんかん	気管支喘息	結核	COPD	間質性肺炎・肺線維症	
心筋梗塞	安定狭心症	不安定狭心症	不整脈	心不全	閉塞性動脈硬化症	
ネフローゼ症候群	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	肝硬変	尿路結石		
骨粗しょう症	糖尿病	高脂血症	バセドウ病	関節リウマチ	薬疹	
花粉症	アトピー性皮膚炎	ケロイド	子宮筋腫	子宮内膜症		
熱性けいれん	緑内障	白内障	歯周病	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)		

第2コホート (38疾患)

肺がん	食道がん	胃がん	大腸・直腸がん	肝がん	膵がん	胆道がん
前立腺がん	乳がん	子宮頸がん	子宮体がん	卵巣がん	造血器腫瘍	腎がん
脳梗塞	脳動脈瘤・クモ膜下出血		糖尿病	高脂血症	心筋梗塞	安定狭心症
不安定狭心症	閉塞性動脈硬化症		不整脈	心不全	気管支喘息	関節リウマチ
アトピー性皮膚炎	間質性肺炎・肺線維症		COPD	てんかん	骨粗しょう症	肝硬変
B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	脳出血	認知症	うつ病	薬疹	

| 連携機関・グループ[†] (2014年~)

独立行政法人国立病院機構(NHO)



日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)



日本小児がん研究グループ(JCCG)



バイオバンク・ジャパン事務局

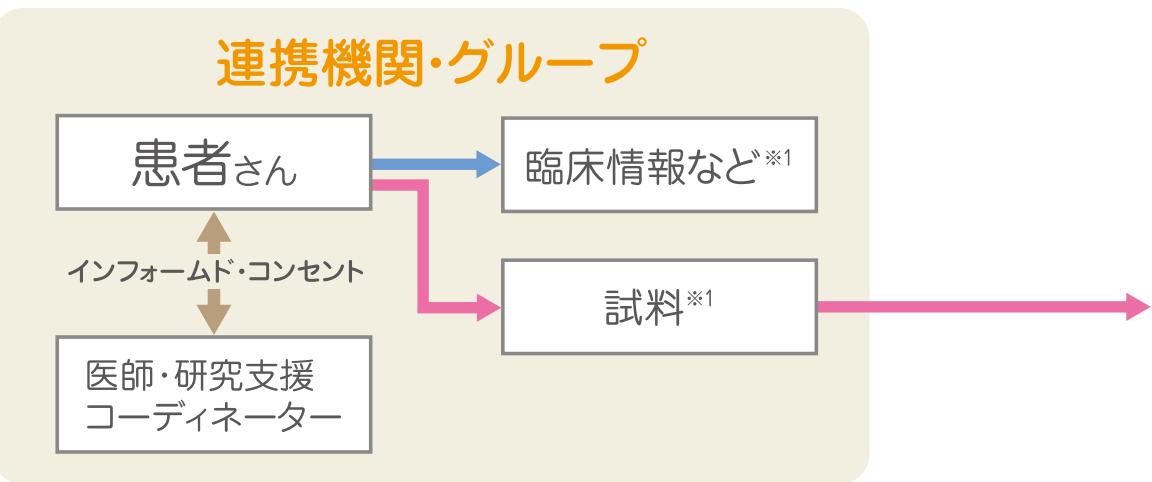
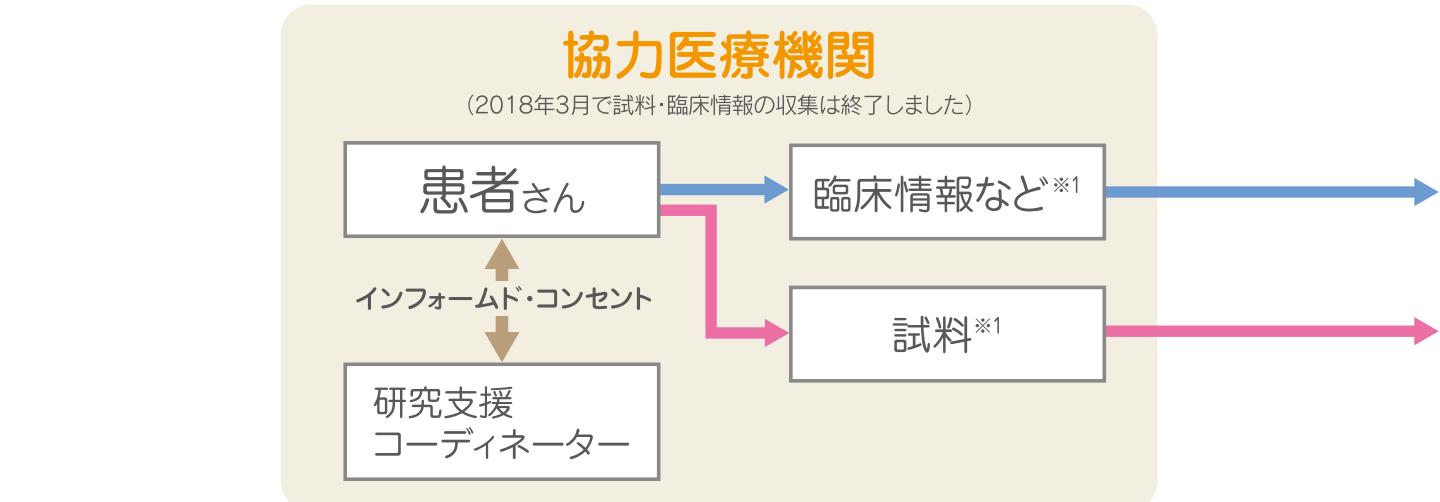
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 東京大学医科学研究所内 TEL・FAX(03)5449-5122

バイオバンク・ジャパンのWebはコチラ!
<https://biobankjp.org/>



ようこそ バイオバンク・ジャパンへ

バイオバンク・ジャパンはこんなことをしています。



厳しいセキュリティ管理



研究に際し、ご提供いただいた試料・情報は、お名前、ご住所、生年月日などを取り除き、新たにID番号を割り当てて管理しています。当該機関から他の機関へ試料・情報を出す場合、このID番号だけが使われます。試料・情報を保管する各保管庫には、それぞれセキュリティ用の端末が備えられており、特定の関係者しか入室することができません。また、保管庫の入出庫を管理するパソコンも静脈認証装置で登録した特定の関係者しか操作することができません。常にセキュリティに万全を期しています。



用語解説


*1 試料・臨床情報など

協力医療機関では、第1コホートにおいて患者さんからDNA用・血清用の合計14mLの採血をいただきました。第2コホートでは、DNA用の7mLの採血をいただきました。収集する情報には、病院の診療情報、生活習慣情報、住民票に記載されている情報などがあります。連携機関などからは、患者さんからいただいた試料(DNA・血液・組織)と、試料に関連する情報のみを提供いただき、臨床情報は連携機関で保管していただいています。



ウェブページもご覧ください



*2 DNA・ゲノム

わたしたちの体の細胞のなかには、DNA(デオキシリボ核酸)という物質があります。DNAを構成する要素として、アデニン(A)、グアニン(G)、シチシン(C)、チミン(T)の4種類の塩基の並び順が遺伝情報になっています。細胞内のDNAに書き込まれた遺伝情報全体をゲノムといいます。1塩基を1文字とすると、ヒトゲノムは約30億文字分の情報になります。わたしたちは、両親から1セットずつのゲノムを受け継いでおり、これらが23対の染色体に分かれています。ゲノムには、からだをつくる遺伝子の情報、その遺伝子を制御する情報などが含まれています。

*3 血清・血漿・組織

血液の中の成分のうち、細胞成分(赤血球、白血球、血小板)を除いたものを血漿、血液を固めて凝固に関わる成分を除いたものを血清といいます。これらは、協力医療機関や委託先検査会社で分離作業が行われます。連携機関などでは、検査や手術で採取されたがん組織のうち、検査に使用しない部分の組織の一部が、定められたプロトコールに基づき採取されます。

*4 試料等配布審査会

バイオバンク・ジャパンでは、試料・情報が適正に有効利用されるよう、提供に関する審査を行っています。研究者に提供する際には、倫理審査委員会で研究計画が妥当であることが認められた計画に対して、試料等配布審査会で審査を行います。

*5 公的データベース

系統的に整理された情報の集まりをデータベースといいます。研究データを共有するために構築された公的データベースでは、データの統合・整備によって、広くデータの共有・活用が進み、社会全体で研究が推進されることを目指しています。その一例として、科学技術振興機構に設置されたバイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)が運用するNBDCヒトデータベースがあります。